

令和3年度第2回 平塚市環境審議会の概要

日 時 令和4年2月1日（火）～2月8日（火）

形 式 書面開催

出席者 石崎委員、小島委員、山口（一薫）委員、山口（洋子）委員、齋藤委員、
柳川委員、秋山委員、小宮（義雄）委員、府川委員、小倉委員、
小宮（章裕）委員、近藤委員、室田委員、堀委員、坂本委員
〈事務局〉環境部長、環境政策課長ほか

議 題

- (1) 平塚市環境基本計画中間見直し（素案）のパブリックコメント結果の報告について
- (2) 平塚市環境審議会答申書案について
- (3) 平塚市地球温暖化対策実行計画に基づく二酸化炭素排出量推計について

1 議題に対する意見・質問

- (1) 平塚市環境基本計画中間見直し（素案）のパブリックコメント結果の報告について
・意見なし
- (2) 平塚市環境審議会答申書案について

| 番号 | 意見の概要 |
|----|---|
| 1 | 答申1、社会情勢等を踏まえた対応について、市が取り組む今後の新たに顕在化する課題として、香害を取り上げています。香りに関する影響は個人差によるところもありますので、環境基本計画で取り組んでいる環境問題とは異質に感じています。ここで取上げることないようにご再考をお願いします。 |

- (3) 平塚市地球温暖化対策実行計画に基づく二酸化炭素排出量推計について

| 番号 | 質問 |
|----|--|
| 1 | 2018年のCO2削減量が2013年度比30%減にとどまっているということだが、2026年度までの目標が18.5%であるのに、目標達成までのシナリオが大丈夫なのだろうかとも思う。削減可能性の試算をみると、再生可能エネルギー電気の利用拡大や電気自動車の導入などが効果があるとされているようだが？ |
| 2 | 1 ページ目、目標年（令和8年度<2026年度>）までに基準年比で18.5%削減と書かれています。環境基本計画書のページ33では2026年度までに2013年度比34.9%削減という目標値になっていますが、今後、34.9%に変わるという事でしょうか。 |
| 3 | 廃棄物が減少している理由がわかるようでしたら教えてください。 |

以 上